

平成 30 年 3 月 14 日

講談社広報室

講談社各賞の「新設」「終了」「改称」等のお知らせ

平素よりお世話になっております。

講談社は、2019 年に創業 110 周年という節目の年を迎えますが、これを機に、いままで皆様にお力添えをいただいていた運営してきた各賞の見直しを行い、賞の新設・終了・改称等を行うことにいたしましたので、ここにお知らせいたします。

講談社出版文化賞の 4 部門のうち、写真賞・さしえ賞・ブックデザイン賞については、今年度限りで終了といたします。絵本賞は講談社絵本賞と改称し、引き続き単独で運営してまいります。

講談社エッセイ賞につきましても、今年度限りで終了といたします。

これらの賞の終了を受けて、エッセイ・写真・さしえ・ブックデザインなどの各ジャンルを含む、幅広い表現活動を顕彰する目的で「野間出版文化賞」を新設いたします。この賞は、各ジャンルで活躍する第一線の表現者の方々（毎年複数名）が受賞対象者となる予定です。賞の詳細につきましては、現在社内で議論を重ねており、今年度の野間文芸賞・同新人賞・同児童文芸賞の受賞者記者会見ならびに授賞式（12 月 17 日）の場で、詳細を発表させていただきたく存じます。2019 年度からは、上記の野間三賞に加え、野間出版文化賞も 12 月 17 日の贈呈式で表彰させていただくこととなります。

次に、講談社ノンフィクション賞は、2019 年から「講談社 本田靖春ノンフィクション賞」と改称いたします。

本田靖春さん（1933～2004）は、戦後日本を代表するノンフィクションの書き手のおひとりであり、弊社からは代表作の一つである『不当逮捕』や遺作となった『我、拗ね者として生涯を閉ず』等を出版させていただいております。また、「本田靖春全作品集（全 28 タイトル）」も電子書籍で刊行しております。本田さんご本人も第 6 回講談社ノンフィクション賞の受賞者であり、なにより現在活躍する数多くのノンフィクションライターにとって、目標とする書き手のひとりであると言えます。

よって弊社創業 110 周年を機に、講談社ノンフィクション賞に本田靖春さんの名を冠することにいたしました。

以上が賞の改編の全容です。

上記の各賞以外の多くの賞は、今までと変わらず、運営してまいりますので、今後ともお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。

※この件についてのお問い合わせは、弊社広報室（03-5395-3410）までお願いいたします。